

小学校で食育を実施

東京X 講義とカット実演

TOKYO X As
Sociation(会)による食育の授
業がスタートし
イフードスタイル(三越
伊勢丹グループ)畜産バ
イヤー)は10月13日、東
京都練馬区の光が丘秋の
陽小学校の5年生を対象
に社会科授業「これから
の食料生産」と題し、T
OKYO Xを通じた食
育活動を行った。

石井会長はま
ず、同協会が設
立された経緯や
役割、さらにT
OKYO Xの
特長などを紹
介。TOKYO
Xの四つの理
念「安全・安
心」「本来の生命の力を
生かす」「動物福祉」
「新しい品種」につい
て、食育と絡めながら分
かりやすく説明した。

また、指定飼料は繊維
質の多い「ふすま」や
「豆科の牧草」が12・5
%配合されており、豚の
腸管が活性化されている
こと、加えて飼料米が15
%含まれることも紹介。
肉質についても「霜降
り」「肉色」「筋繊維が
細かく緻密」「脂肪の

と声をそろえて回答。統
と声をそろえて回答。統
と声をそろえて回答。統



小学校で食育の授業を行
う石井会長

ツクに向けて東京都生産
の農産物が使われたイベ
ントやメニューを紹介し
た。

そのあとは部分肉から

店舗の売り場に並ぶパッ
ク肉への製造を実演。フ
ロク肉からポークソテ
ー用、トンカツ用、しよ
うが焼き用、焼き肉用、
薄切り肉、バラエティ

カット、カレー用などに
カットされ、児童たちは
そのようすを興味深げに
取り囲んで見入ってい
た。

最後に塩こししょうで味
付けされたTOKYO
Xの焼き肉が試食として
提供され、皆満面の笑み
を浮かべながら頬張っ
た。

石井会長は最後のあい
さつで「小さなときから
本物の味を知ってもらっ
ことや、生産工程に興味
をもってもらうことは、

日本の農業を活性化する
ことにつながる。皆が喜
んでくれて、TOKYO
Xの応援団になってく
れたことが非常にうれし
い」と述べた。